

(高等部) <税金と選挙の学習をしました！>

12月9日(火)、長崎税務署の三上様を講師にお招きし、「わたしたちのくらしと税」という表題で租税教室を行いました。「もしも税金がなかったら・・・」の講話では、警察、救急車、消防車が利用できなくなったり、街にごみがあふれたり・・・と私たちの生活がとても困ってしまうことを、身近な例を挙げて説明していただきました。また、日本には昔、犬税やウサギ税があったこと、世界にはバター税、ポテトチップ税があることなど、楽しいクイズもありました。他にも、「学校を建設するためには13億円が必要である」というお話の後、1億円が入っているケース(10kg)を持たせていただき、持ってみた生徒たちは、その金額と重さに盛り上がっていました。最後に「教科書や備品など学校の物を大切に使うください」「税金に興味をもってください」「思いやりのある優しい人になってください」というお話をいただき、生徒の心にも響いた様子でした。



12月16日(火)、川棚町選挙管理委員会の堤様を講師にお招きし、「18歳になったら投票に行こう!!」という表題で選挙の学習を行い、選挙の種類や、投票の仕方を教えていただきました。また、生徒の質問に対して「集計は、名前の読み取り、数の計算を機械が行っている」こと、「開票は市町の役場や公会堂で行い、一般の人も見学できる」ことなどを答えていただきました。次に、模擬選挙を行いました。実際に使われている「投票所入場券」「投票用紙」「記載台」「投票箱」を使わせていただきました。また、1番最初に受付を行った生徒は「投票箱の中に何も入っていないことを確認する」という実際の選挙と同じ体験をしました。模擬選挙で「緊張した」と話す生徒もいましたが、この経験が実際の選挙に生かせると思います。2月にはほとんどの3年生が18歳になっているので、2月の長崎県知事選挙には、今日の学習を生かして、3年生は投票に行くことでしょう。



長崎税務署の三上様、川棚町選挙管理委員会の堤様、お忙しい中お越しいただき、本当にありがとうございました！！